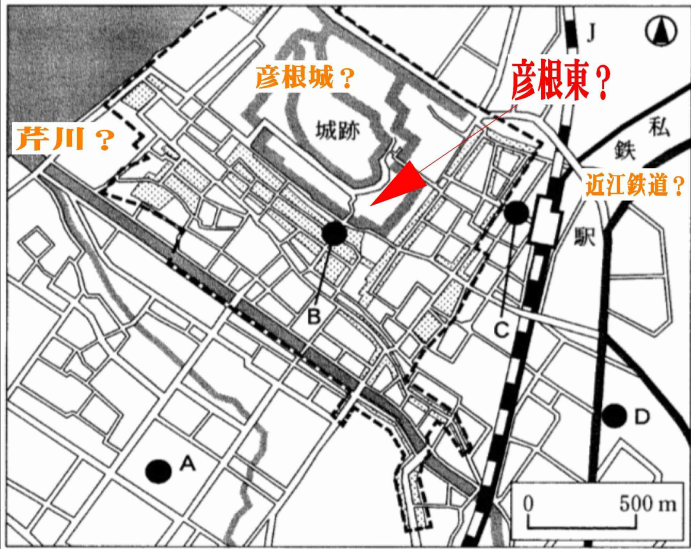
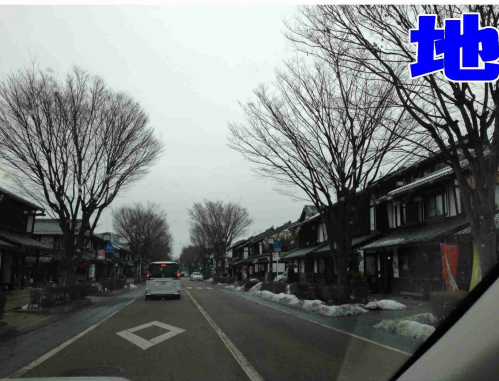


ムーミンおいも驚き センター地理Bに彦根？！



『日本図誌大系』などにより作成。

- 選択肢**
- 1970年代以降に開発された地区であり、住宅が建ち並んでいる。
 - 江戸時代から続く商業中心地が衰退したことにより再開発がなされ、城下町の雰囲気を出す景観整備が行われている。
 - 近代以降に発展した地区であり、商業施設や銀行などが建ち並ぶ一方、閉店している店舗もある。
 - 自動車交通が便利のため、ロードサイド型の店舗が建ち並んでいる。



地点B

彦根東高至近の夢京橋キヤンスルロ下。城下町の雰囲気を醸し出している。



地点D

8号線沿いの「トリ」周辺と推定される。「ロードサイド型の店舗」が他にも多数ある。



地点A

ベルロ下沿いの「コス裏手」と推定される。確かに「住宅が建ち並んでいる」。



地点C

「商業施設や銀行などが建ち並ぶ」彦根駅前のアルプラザ周辺。確かに閉店している店舗もあり。

平成30年度 地理B 第3問 問5
次の図は日本の城下町としての歴史を持つある都市の概略を示したものであり、下の①～④の文は、図中A～Dのいずれかについて述べたものである。地点Cに該当するものを、下の①～④のうちから1つ選べ。

1月13日に行われた大学入試センター試験の「地理B」では「ムーミン」が出題されたことが全国的に話題になったが、本校生の中では彦根城を中心とする地図が出題されたことの方が驚きであった。問題文中では「彦根」と明記されているわけではないので、彦根だとは断定できないが、「彦根」だとして、出題されたA～D地点がどこになるのか確かめてみた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号